

相双地方

相双地方ならではの農林水産業の再生を目指して ～地域に寄り添った復興の推進～

海沿いの平野部と阿武隈高地の山間部、漁業が盛んな沿岸部に大別され、東日本大震災以前は地勢をいかした農林水産業が展開されていました。

農林水産業の再開に向けた取組が徐々に進んでいるものの、一部の地域においては、いまだ避難指示や農林水産物の出荷制限指示が継続されており、原子力災害の影響は現在も大きく残っています。

東日本大震災及び原子力災害からの復興



整備後のほ場（南相馬市）

ほ場の大区画化・汎用化に向けた取組



造成された海岸防災林（浪江町）

海岸防災林の造成

地域の特性をいかした産地づくり



タマネギ選別作業（富岡町）

拠点施設を核とした広域的な「タマネギ」の生産振興の取組



子実用トウモロコシの収穫（南相馬市）

子実用トウモロコシ生産拡大に向けた県内モデル地区としての取組



タチウオの水揚げ（相馬市）

近年増加している水産資源の有効活用や付加価値向上の取組への支援

持続的な発展を支える生産基盤の整備と担い手の確保



相双地方新規就農者交流会

農業法人等における新規就農者定着に向けた取組支援



海岸防災林の見学（相馬市）

福島大学等を対象とした現場見学会



漁業現場での研修

新規漁業者定着に必要な長期研修等への支援

地域の特性をいかした農山漁村の形成



ブロッコリーの植え付け（南相馬市）

「『畑の学校』実践モデル事業」の取組



恒久電気柵試験設置（浪江町）

鳥獣被害防止の総合的な対策を行うモデル地区を設定